



トップセールスで志願者獲得

埼玉地方協力本部（本部長 山下一空佐）は七月から開始された高校三年生への募集活動に併せて、県内に所在する城北埼玉高等学校、狭山ヶ丘高等学校及び東京農業大学第三高等学校の学校長へ表敬訪問を実施した。

この3校は、埼玉県の概ね中央部に位置する私立の高校で、総合的な人間形成と真の学力構築を目指す、県内でも有数の進学校である。今回の表敬訪問では質の高い人材獲得という目的のため、本部長が防衛問題や国際関係に係る話題で会話をしながら、防大及び防医大の魅力、幹部自衛官の仕事、そしてそのやりがい等について説明を行った。加えて、学校での説明会時には多くの学生に参加して頂けるように学校長へ依頼した。また、中国の海洋進出や学校教育及び少子化問題など幅広い様々な話題で和やかに会話が進んだ。

それぞれ約一時間の懇談を通じ、各校長に自衛隊の活動や自衛隊の各種学校等について理解を深めていただくことが出来、今年度の受験者獲得へ向けて大きな一歩となった。

埼玉地本では、今後本部長が先頭に立って学校等との信頼関係をより強く構築し、質の高い志願者の獲得につなげていくと意図している。



夏休みイベントで自衛隊をPR

埼玉地方協力本部（本部長 山下一空佐）は七月三十一日（土）、ピオニーウォーク東松山店の依頼を受け、ピオニ夏休みイベントにおいて、自衛隊装備品展示（第三十二普通科連隊支援）・自衛隊活動写真展示及び募集広報ブースを設置し、埼玉地本マスコットキャラクターのサイポン（りくくん・うみくん・そらくん）とともに募集広報活動を実施した。

埼玉県の緊急事態宣言発令直前の週末であり、入場者の制限や検温・消毒を行い、感染拡大防止に努めての実施となった。

当日は天候に恵まれ三十度を超える晴天の中、入場待ちが出る程の賑わいとなり、約八〇〇人を超える来場者を迎えることができた。小学生以下の子供連れの家族が多く来場し、装備品展示では軽装甲機動車や高機動車の写真撮影や第三十二普通科連隊隊員と一緒に記念撮影を楽しむ家族連れの姿がみられた。また、店内2階の自衛隊活動写真展示では、この地域でも被害を受けた令和元年台風一九号に伴う災害派遣での活動写真や今年七月に起きた静岡県熱海市での土砂災害で活動する第三十二普通科連隊隊員の写真などを展示し、災害派遣で活動する自衛官の写真を一枚一枚多くの方が真剣に見ている姿があった。

募集広報ブースでは、入間地域事務所（所長 村上2空尉）の広報官や臨時勤務者及びサイポン達で来場者の対応を行った。アンケートに答えてくれた方（約五〇〇名）及び子供連れの自衛隊グッズのプレゼントやDVD鑑賞コーナーでは陸海空自衛隊の紹介映像を多くの方が鑑賞した。

子供連の一番人気は南極の氷展示であった。砕氷艦「しらせ」勤務経験者の広報官が説明を行い、氷から聞こえる空気の弾ける音を澄ませる子供連の様子や南極の氷の欠片を両手で大切に持っている子供の姿が見られた。サイポンが現れると家族が集まり撮影会が始まるなど、各所でたくさんの子供連の笑顔が見られた。また、自衛官採用について個別説明を行い、広報官の説明を受けて受験を決めた高校生もいた。

埼玉地本では、今後も自衛隊をより身近に感じてもらえるよう地域のイベントに積極的に参加し、将来の夢は「自衛官！」と子供連に目指してもらえるように、地元と密接した募集広報を行い、募集基盤の強化を図っていく。

